

ご存じですか？

五井松平家

戦国時代、松平(徳川)一族は、三河国内の各地に分家がありました。そのうち、蒲郡市五井町を本拠地とした領主が五井松平家です。現在は滅失してしまいましたが、古城山真清寺が建っているところに、かつて五井城がありました。

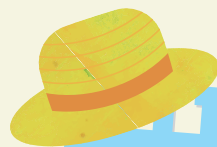
徳川家康が、江戸へ国替えになると、五井松平家も関東へ移り住みました。江戸時代には五千五百石の上級旗本として存続し、歴代当主は、「定火消し」(江戸城や市中を火災から守る役目)などを歴任しました。

開催中の企画展「松平家ゆかりの文化財」では、五井松平家の子孫の方にお借りした、系図・過去帳・書画・工芸品など貴重な文化財を展示しています。この機会を逃すと二度と見られないかも…？ぜひご覧ください。



五井松平家の家紋(丸にいちようぶどう葉の葡萄)が入った時絵手箱

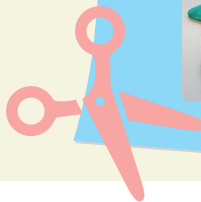
博物館
Museum
☎ 68-1881



夏休み / 工作スペース

オリジナルの刀・しゅりけん・印ろうを作ってみよう！

と き 7月31日(土)～8月29日(日)
ところ ギャラリー
参加費 無料 ※申し込み不要



竹島水族館
Aquarium
☎ 68-2059

館長の
ひつりいん



小林 龍二

最近の研究で「イカはかなり我慢ができる」ということが分かってきたらしいです。

1 番目にあげたエサを我慢したら次に1 番目よりもさらに良いエサをもらえるという実験を行うと、イカはそれを学習して腹が減っていても1 番目のエサを我慢すること。最短でも50 秒ほど、長いと2 分くらいは我慢するという。イカのくせに学習するのもすごいのが、今我慢したらもっといいものがもらえるという自分の目の前の状態を制する考えや姿勢というのがスゴイじゃないですか。寿司で食べるあのイカがですぜ。

よく水族館の売店で子どもがグッズを欲しがっていて、お母さんが「今日はダメよ。また今度ね、我慢しようね」という猛烈な購買回避をして子供がしぶしぶ従う光



館長よりも我慢できるアオリイカ

景を見ると、あの子はすごいな、偉いなと思います。それに比べて私なんぞはメダカが大好きなので、貴重できれいなメダカを見つけるとすぐに欲しくなってしまう。金銭感覚は崩壊して、飼って眺めてウットリしたい、今欲しいすぐ欲しいという状態に。

イカも水族館に来る幼い子どもも我慢ができる。イカだけにちよつとこれはイカン。イカや子どもより水族館の館長に自制心がないなんてまことにもってイカンである。